

## 特集：エコドライブの普及活動

# 安全運転につながる エコドライブ



今年2月に発売された新型ハイブリッドカー「インサイト」は、発売後約1ヵ月で月間販売計画の3倍以上となる約1万8,000台を受注するなど、幅広いお客様から支持されている

※1 ハイブリッドカー＝エンジンとモーターを組み合わせたクルマ。高回転で力を発揮するエンジンと、低回転で力を発揮するモーター、それぞれの長所を効率よく活用することにより、より低燃費でクリーンな、すぐれた環境性能をもたらす。

地球温暖化対策の中で一番大きな課題はCO<sub>2</sub>の排出量削減である。運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量は全体の21%。その中でも自家用車（マイカー・社用車等）からの排出量が約半分を占める。こうした状況の中、Hondaではハイブリッドカー※1を広く世の中に普及することをめざし、今年2月に新型ハイブリッドカー「インサイト」を発売した。

しかし、CO<sub>2</sub>を削減するためには、クルマ単体での対策だけでなく、環境に配慮したクルマの使用—エコドライブも必要である。今回はエコドライブを推進するための取組みを紹介するとともに、エコドライブと安全運転との関わりを探っていく。

エコドライブとは、ゆっくりとした発進や加減速の少ない走行、無駄なアイドリングを止めることなどによって燃料の節約に努め、CO<sub>2</sub>の排出量を減らす運転を意味する（2面コラム参照）。ガソリンなど燃料の節約は直接CO<sub>2</sub>の削減になり、ドライバーなら誰もが簡単にできるエコ活動である。普通より少し緩やかに発進するだけでおよそ11%燃費が改善するというエコドライブへの認識が高まれば、CO<sub>2</sub>の削減効果が期待できる。政府は、2006年6月にエコドライブ普及連絡会（警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省から構成）において「エコドライブ普及・推進アクションプラン」を策定し、政府、地方公共団体、関係団体、製造事業者、輸送事業者及びドライバー等が取り組む事項をまとめた。こうした施策を背景に、民間企業においてもエコドライブへの関心が高まり、推進活動が広がってきている。



Hondaの交通安全情報紙  
**The Safety Japan**  
Since 1971

4・5  
2009  
APRIL・MAY

●編集室：本田技研工業株式会社 安全運転普及本部内  
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1  
電話 03(5412)1736  
http://www.honda.co.jp/safetyinfo/  
●編集人：千葉英雄  
※年間購読をご希望の方は、下記までお問い合わせください。  
（株）アストクリエイティブ 安全運転普及本部係  
電話 03(3405)1191

SJ ホームページは

### CONTENTS

- 特集：エコドライブの普及活動  
安全運転につながるエコドライブ……………1
- 危険予測トレーニング（KYT）／信号機のある交差点を渡る（自転車）……………4
- The教材／動画教材 知っておこう自転車のルール……………4
- SJクイズ……………4
- DOCUMENT EYE ②③  
信号機のある交差点を横断する自転車利用者の左右確認状況を観察する……………5
- 地域のチカラ／京都府の交通安全活動……………6
- 現場訪問／東京明販（株）……………7
- TOPICS ①／第1回蓬原地区親子交通安全教室……………7
- TOPICS ②／私のしごと館・イベント「危険予測トレーニング」……………7
- 教育最前線／京都府警察本部・いきいき運転講座……………8
- 読者の声……………8

## 読者の皆様へ～SJ本紙・ホームページリニューアルのお知らせ～

いつも「SJ」をご愛読下さしまして、誠にありがとうございます。

当紙は、交通安全活動を推進する指導者の皆様に役立つ情報の提供を目的に発行してまいりました。今号より、交通安全の教材として活用いただける機能を強化するとともに、各地域での取組み・指導方法を紹介する記事を充実させ、新たな内容でお届けいたします。

この度のリニューアルでは、教育の現場を意識した新しい連載企画をお届けするため、ページ数を8ページに拡大いたしました。それに伴い、掲載内容を充実させるべく、月刊での発行から隔月刊の発行へと移行いたします。（次号は6月20日発行予定）

当紙では読者の皆様にとって使いやすく、お役に立つ紙面づくりをめざしていきますので、今後とも皆様からの忌憚のないご意見・ご要望を頂戴いたしたくお願い申し上げます。

(SJ編集部)

### 4・5月号からのリニューアルのポイント

- ◎掲載内容充実のため、ページ数を増やします。（6P→8P）
- ◎発行のタイミングを変更します。（毎月発行→偶数月発行）
- ◎SJホームページをリニューアルします。（本紙+αの情報をお届け）

### ●SJホームページ 本紙の情報+独自コンテンツも

- ◎読者の方々からの意見を掲載する「SJポスト」を開設
  - ◎簡単な調査結果を掲載する「SJプラザ」を開設
  - ◎KYTやSJクイズの教材ダウンロード機能を強化
  - ◎ドキュメントアイの「観察こぼれ話」教材を掲載
- \* SJホームページにアクセスし、「4・5月号読者アンケート」にご回答いただいた方の中から抽選で100名様にクオカードを進呈いたします。（締切：6月19日）

### SJ紙面構成

◎よりご活用いただける紙面をめざして内容を見直しました。

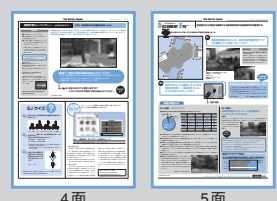
#### P1-3 特集

交通社会においてクローズアップすべきテーマをタイムリーに掲載



#### P4-5

教材として活用いただける機能を強化



#### P6-8

交通安全教育の現場の取組み・指導方法を紹介



# Hondaの交通教育センターや、自動車教習所で企業ドライバーを中心に展開されるエコドライブ教育

## 安全とエコをセットにした研修

全国にあるホンダの交通教育センターでは、エコドライブは安全運転につながる点が多いという認識から、昨年4月より企業ドライバー向けの安全運転研修の1つのコースとして、セーフティ・エコドライブ研修を開始した。

同研修は座学と実技で構成され、研修内容は、研修を受講する企業の要望や各交通教育センターの設備の状況などによって多少異なる。ここでは一般的に行われている座学と実技を紹介する。座学では環境問題に関する一般知識とともに、CO<sub>2</sub>の排出量を減らすというエコドライブの必要性を説明。さらに、ふんわりアクセル「eスタート」など、エコドライブのための運転操作を指導する。そして、実技後に行う座学では、エコドライブと安全運転について解説する。

実技では受講者は燃費計（燃費を計測する装置）を取り付けたトレーニング車両を運転する。最初はエコドライブを意識せずに運転してもらい、その時の燃費を計測しておく。

次に、指定されたコースを周回して、ふんわりアクセル「eスタート」、アクセルオフによるフューエルカットなどの効果を確認。これをもとに、どのような運転方法が燃費向上に効果があるか、受講者自身が考え、走り比べて試しながら、理想のエコドライブを見つけ出し出す。

また、途中では、急ブレーキ体験も行われる。急ブレーキは燃費には悪いが、緊急時には必要なことを体感してもらうためである。

セーフティ・エコドライブ研修の特色は、安全運転とエコドライブをセットにして、実施していることである。

また、この研修は各交通教育センター独自のカリキュラムもある。例えば、鈴鹿サーキット交通教育センターが導入したのは「eco-KYT」。これは、実技後の座学で行われる。受講者にある交通場面を見てもらい、燃費向上のために何ができるのか考え、次にその場面での危険要因を考えることで、「エコ」と「セーフティ」をどのように両立させるか討議していくというものである。

「eco-KYT」の作成を担当した鈴鹿サーキット交通教育センター・西井毅インストラクターは、「eco-KYT」を導入した背景には、エコドライブの意識が過剰になると安全運転につながらないケースもあることがわかってきたためという。

「研修では受講者がエコドライブを追求していくと、なるべくブレーキを使わずに、アクセル操作で速度を調整しようとする傾向が見られました。アクセルを緩めるだけで曲がり角やカーブに進入する運転は、燃費向上には良いことですが、ブレーキを踏んでブレーキランプを点灯させて、後続車に減速を促さないと、後ろから追突される危険性が出てきます。また、一時停止場所でも、燃費を上げるために徐行だけで通過してしまうこともあると思います。こういう

## エコドライブのコツ!

### 走る前にできること

- ①事前のルートチェックと道路交通情報の活用  
走行距離の短いルートを選んだり、渋滞を回避することで燃料を節約
- ②タイヤの空気圧をこまめに点検  
タイヤの空気圧が下がったまま走行すると、燃費が悪化
- ③不要な荷物は積まずに走行  
不要な荷物や空気抵抗の大きい装備は、燃費悪化の原因

### 走る時にできること

- ④ふんわりアクセル「eスタート」  
アクセルはゆっくり踏み込む。AT車の場合は、クリーブ現象を利用
- ⑤暖機運転は適切に  
最近のクルマは寒冷地などを除き、冬も暖機不要。エンジンをかけたら、クルマは走りながら暖める
- ⑥加減速の少ない運転  
車間を詰めたり、速度にムラがあると、加減速の機会が多くなり、燃費が悪化
- ⑦早めのアクセルオフ  
停止位置に合わせて、早めにアクセルから足を離し、エンジンブレーキで減速
- ⑧エアコンの使用は控えめに  
エアコンの使用は多くの燃料を消費。車内の冷やしすぎに注意

### 止まる時にできること

- ⑨駐車場所に注意  
交通の妨げとなる駐車は、交通渋滞をもたらす、余分な排出ガスをださせる原因
- ⑩アイドリングストップ  
待ち合わせや荷物の積み下ろしの駐車時は、アイドリングストップ

※アイドリングストップ=駐車時以外の（特に交差点での）アイドリングストップは、以下の点に十分注意する必要があります。

- エアバッグ等の安全装置が機能しないので先頭車両付近ではアイドリングストップをしないでください
- 坂道ではアイドリングストップをしないでください
- アイドリングストップ中に何度かブレーキを踏むとブレーキが効きにくくなります
- 慣れないと誤操作や発進が遅れることがあります
- バッテリー上がりによりエンジンが再始動しない場合があります
- 頻繁に行くと部品寿命（スターター、バッテリー等）が短くなります
- 方向指示器、ワイパーが作動しない場合があります
- 電子機器の始動に数秒かかります

## 自動車教習所によるエコドライブの普及

エコドライブの普及においては、自動車教習所もその役割を果たしている。昨年6月、「指定自動車教習所の日」の時期に合

### ●eco-KYTの一例 閑散とした道路での出会い頭事故の危険



- ・見通しのよい道路を走行しています。
- ・交通量は少なく快適に運転しています。
- ・どのような危険に注意し、セーフティ・エコドライブしますか？

- ★燃費向上のみを考えたら…  
「アクセルを一定に保ちながら、直進する」
- ★安全を考えたら…  
「交差点手前で減速し、左右の安全を確認する」  
(イラストでは左のピラーのカゲにクルマが隠れているのがわかる)

わせて、東京指定自動車教習所協会は東京都環境局と連携し、教習所職員向けに実施した各種イベントの1つとして、「東京都エコドライブインストラクター養成講習会」を実施。同協会に加盟する全自動車教習所の教官の代表者が受講し、エコドライブ推進の核となる53名のインストラクターが誕生した。

東京都は、このエコドライブインストラクターを講師として、区市町村や事業者と連携しながら、エコドライブの普及を図っている。尾久自動車学校（東京都小金井市）の副管理者・講習部部長の羽柴和明さんによると、尾久自動車学校を含む11教習所が先駆的モデル校となり、昨年11月から企業を対象とした「東京都エコドライブ講習会」が実施され、全50回で175名が受講したという。さらに、尾久自動車学校では東京都のモデル事業に協力し、今年1・2月にも同じ企業を対象にした「東京都エコドライブ講習会」を30回実施し、89名が受講した。

エコドライブ講習会の実施にあたっては、標準パッケージが作成されており、カリキュラム等は都内の教習所でも同一のものを使用している。講習会の内容は、最初に何も説明しない状態で指定されたコースを走行して燃費を計測、次にエコドライブを説明する。その後、最初と同じコースを走り、燃費を再度計測して、最初の走行とエコドライブ走行で燃費がどれくらい良くなったかを知ってもらうというものだ。

羽柴さんは、エコドライブは安全運転と共通項が多いととらえている。「共通項が多い分、安全運転教育の中に、エコという視点を無理なく入れることができます。逆



尾久自動車学校 副管理者・講習部部長 羽柴和明さん



鈴鹿サーキット交通教育センターでのセーフティ・エコドライブ研修。インストラクターのアドバイスを聞きながら、どのような運転が燃費向上に効果があるか受講者自身が考え、試している



尾久自動車学校で実施された「東京都エコドライブ講習会」の様相

※2 フューエルカット=一定以上のエンジン回転でアクセルから足を離すと燃料の供給が停止される機能。燃料を使わずに走行する距離が伸びるので、平均燃費は向上することになる。

# 特集：エコドライブの普及活動 安全運転につながるエコドライブ

こし、継続させていくようなチェック機能やコンテストなどの仕組みが必要になります。

今後は一般のドライバーにもエコドライブを積極的に広めていくことが教習所に求められる。「教習所においても何らかの形でエコドライブについての意識づけをさせることも必要になってくると考えています」。現時点でも、エコドライブは安全運転につながることを学科教習の中で伝えることがあるという。これからは実技でも、エコと安全にからめたアドバイスの機会を増やしたいと羽柴さんは考えている。

## 「エコドライブが学べる」「インサイト」

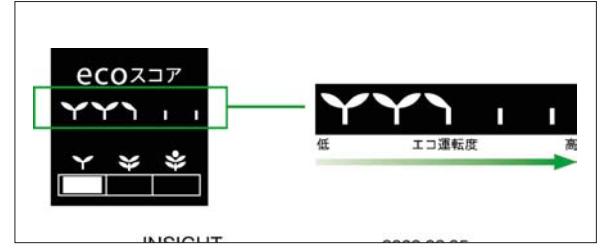
クルマを購入したお客様への安全運転普及活動を展開するホンダの四輪販売会社にも、エコドライブ教育を取り入れているところが現れてきている。埼玉県内に7拠点をもちホンダカーズ埼玉中はその1つ。同社では、5年前から地域の自動車学校の施設を借りて7拠点合同のお客様向けドライバースクールを春と秋の年2回開催。今年5月のスクールで10回目を迎える。

同社取締役サービス部長の倉持豊さんは、「昨年、初めてエコドライブの講義を取り入れました」と話す。実技終了後から解散までの20分間を利用して、エコドライブを説明したそうだ。交通安全センターで行っているセーフティ・エコドライブ研修のテキストをプロジェクトに表示し、クイズ形式でエコドライブのコツを伝えた。「お客様は熱心に聞いてくれたので、エコへの関心が高まっていることを実感しました」と話す。



Honda Cars 埼玉中  
取締役・サービス部長  
倉持豊さん

倉持さんが、「お客様のエコへの関心の高さ」を改めて確認したのは、ホンダが2月6日に発売した新型ハイブリッドカー「インサイト」の登場だ。「自動車業界にとって厳しい時期に、これほど注目される



は思っていませんでした。2015年度燃費基準（省エネ法に基づき定められている新しい燃費基準）を達成していることに加えて、ドライバーの低燃費運転を支援するエコアシスト機能にお客様は興味を示されています」。この機能は、メーター内に

に設置されたディスプレイ画面に燃費運転をリアルタイムに採点し成績をリーフ（葉）の数により表示（右上図参照）。運転終了後には、エンジン始動から停止までの燃費運転の採点結果と、これまでの累計結果である生涯成績を表示する。さらに、燃費運転の積み重ねでリーフが育つため、ドライバーはそのリーフを成長させる楽しみを通じて、より低燃費な運転を習得しやすいシステムとしている。倉持さんは5月のドライバースクールでは「インサイト」の試乗運転で最新のエコドライブのサポート機能を体験してもらう予定という。



Honda Cars 埼玉中・春日部中央店でインサイトを購入した杉山さんご夫妻

ホンダカーズ埼玉中・春日部中央店の「インサイト」購入者第1号である杉山さんは大のクルマ好き。「インサイト」を知るまでは、ホンダ・セイバーを8年間で17万kmも乗るほど気に入っていました。でも、ハイブリッドカーに乗っている人は環境に配慮している人だと思えるようになり、ハイブリッドカーに憧れを抱きました。購入を検討していたところ、「インサイト」が発売され、すぐに購入しました。納車から1ヵ月足らずですぐに2400km走った

という杉山さん、「この間、ゴルフ帰りの下り坂の多い道路でしたが、80kmの走行で燃費はリッター30kmを記録しました」と笑顔で話す。

## エコドライブに関心を持つお客様が増えている



Honda Cars 神奈川東  
日吉店 店長  
田村正さん

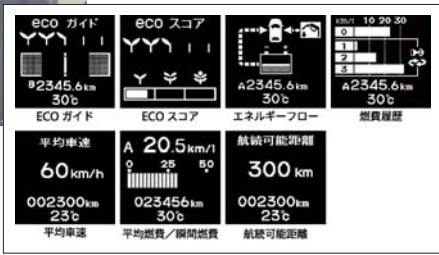
「お店を訪れるお客様は年齢層に関係なく、燃費や環境性能に関心をもたれていて、燃費が良いクルマが当たり前というよう意識の方も多そうです」と、エコへの流れを感じ取っているのはホンダカーズ神奈川東・日吉店店長の田村正さん。お客様が「インサイト」を試乗された時には、やはり燃費などの表示にまず興味をもつという。「インサイト」は前回走行時の燃費も表示できますので、試乗の際には、前に試乗されたお客様の燃費がわかり、自分の運転がエコドライブかどうか前のお客様と比較できると好評です。つまり、自分以外の人と比べてエコドライブなのだろうかとお客様自身が気にされる方が多いということだと思います。

同店で「インサイト」を購入した池野雅義さんは、燃費などを表示するマルチインフォメーション・ディスプレイが気に入っています。



Honda Cars 神奈川東・日吉店で  
インサイトを購入した池野雅義さん

マルチインフォメーション・  
ディスプレイ



だ。「平均燃費や瞬間燃費の表示を確認しながら、アクセルをふかさず一定に、余計なブレーキを踏まないなど、自然と燃費が良くなる運転になっていると思います。また、アクセルを一定に保つと、車間距離も自然と空いていますので、特に意識しているわけはありませんが、結果的に安全運転になっていると思います」と語る。

## エコドライブを お客様に指導できる スタッフを育成

環境意識の高まりから、四輪販売会社では、お客様からエコドライブの実践につながるアドバイスが求められる状況が増えてきている。そこで、ホンダは、東京都内に69拠点をもちホンダカーズ東京中央と協力し、お客様のニーズに応じたエコドライブのアドバイスができる販売会社のスタッフを育成する取組みを試行的に始めた。4月上旬、各店舗の代表スタッフ約120名を対象にした「エコドライブ指導者研修」が計6回実施された。

研修では、まず、エコドライブのアドバイスポイントを確認。運転操作や走る前のエコ対策といったエコドライブの基礎知識から、実際の道路状況や車種に合わせたアドバイスを学ぶ。続いて、店舗周辺の路上を走行し、エコドライブを意識しない運転とエコドライブを実践した運転の燃費を比較するエコドライブ体験を実施。周りの交通状況をよく見て、状況に応じて無理なくエコドライブを実践することで、安全運転にもつながることを受講者同士で共有する。最後に、体験で気づいた点や注意が必要な点、お客様に伝えたいポイントをまとめる。

ホンダカーズ東京中央・取締役営業本部部長の津久井正純さんは、「ホンダは、『インサイト』など環境に良いクルマを開発しお客様に提供しています。そうした環境に良いクルマを、さらに燃費良く安全に

乗っていただくためのアドバイスをお客様にお伝えしていくことが、販売会社の役目と考えます。今回研修を受けたスタッフだけでなく、全体でこの知識を共有し、お客様に自然にエコドライブのアドバイスができる販売会社になっていきたい」と語る。



Honda Cars 東京中央  
取締役営業本部部長  
津久井正純さん

「エコドライブ指導者研修」では、実際に路上を走行しお客様へのアドバイスポイントを確認した



## Honda セーフティキャンペーンで「エコドライブ&セーフティガイド」を配布



Hondaは、「より豊かなモビリティ社会の実現への貢献」をめざし約40年にわたって安全運転普及活動に取り組んでいる。この春は「平成21年春の全国交通安全運動」と連動した『Honda セーフティキャンペーン』を全国のHondaの四輪販売会社で5月10日まで実施している。

セーフティキャンペーンでは、エコドライブと安全運転のコツをわかりやすくお客様へお伝えするためのパンフレット『エコドライブ&セーフティガイド』を配布している。